

2024年度

卒業時調査実施報告



慶應義塾大学

教学マネジメント推進センター

卒業時調査について

KEIO UNIVERSITY STUDENT SURVEY

教学マネジメント推進センターでは、2022年度より、学部にて在学する学生を対象とした調査を実施しており、2024年度より、質問項目の一部見直しを行いました。入学から卒業までの学生調査を実施することによって、学修行動(学習時間、意欲、満足度など)や学修成果の達成度を把握し、大学および各学部における教育プログラムの見直し・改善に活用することを企図しています。

卒業時調査の主な目的

- ・卒業時点での学修成果の到達度および満足度を把握し、学生生活に対する意見や在学中の活動状況について把握します。
- ・在学生調査と組み合わせた分析、比較を行うことによって、学生の学びの成果を可視化します。

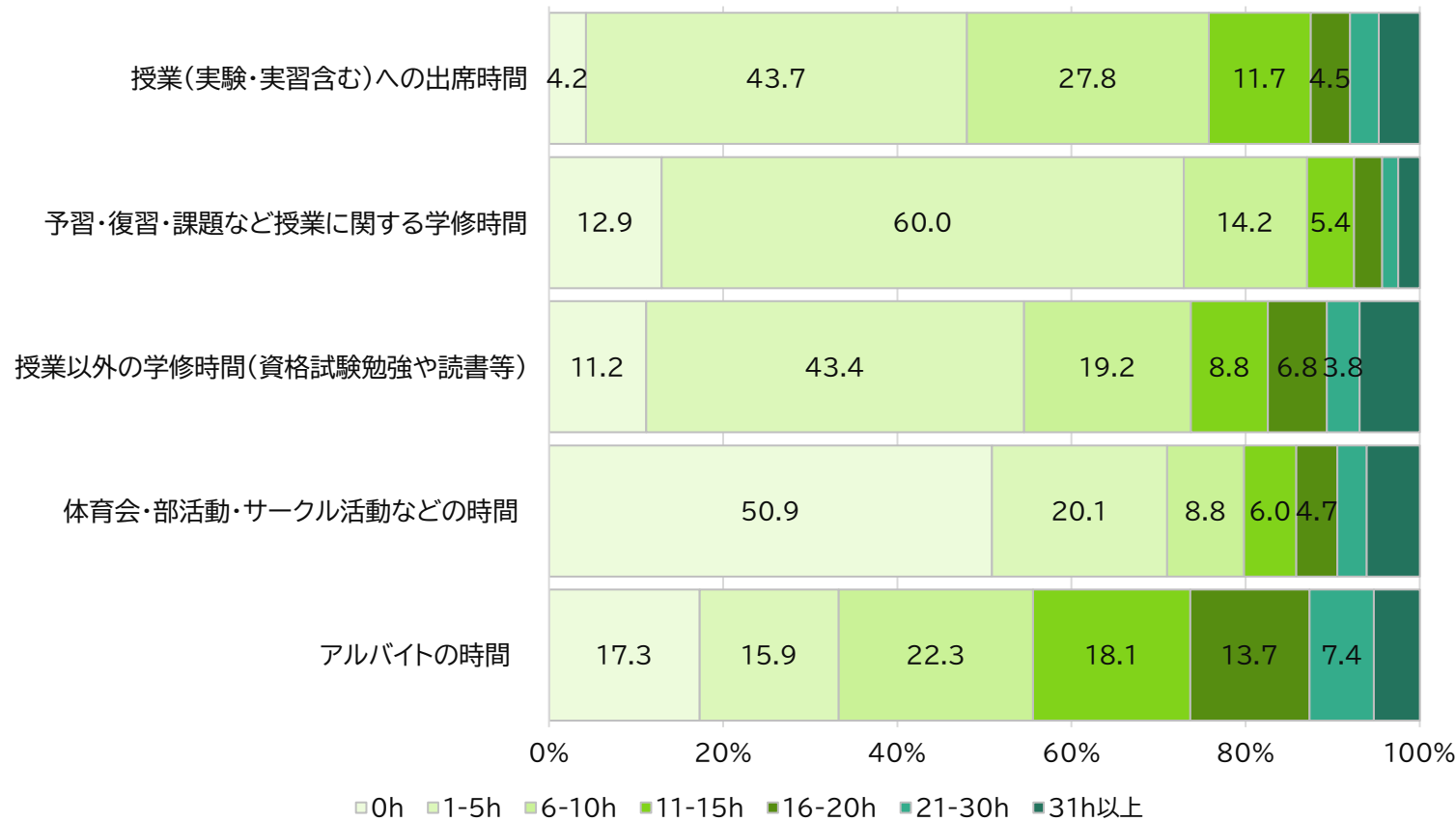
調査概要

KEIO UNIVERSITY STUDENT SURVEY

<u>対象者</u>	2024年9月および2025年3月の学部卒業生
<u>実施期間</u>	(9月卒業)2024年9月5日～2024年9月20日 (3月卒業)2025年3月10日～2025年3月30日
<u>実施方法</u>	在学生向けポータルサイト(K-Support)によるアンケート機能を利用
<u>回答数</u>	1461件/6125件 (回答率:約23.9%)
<u>調査主体</u>	教学マネジメント推進センター／教学マネジメント推進室

1 学修時間【設問変更】

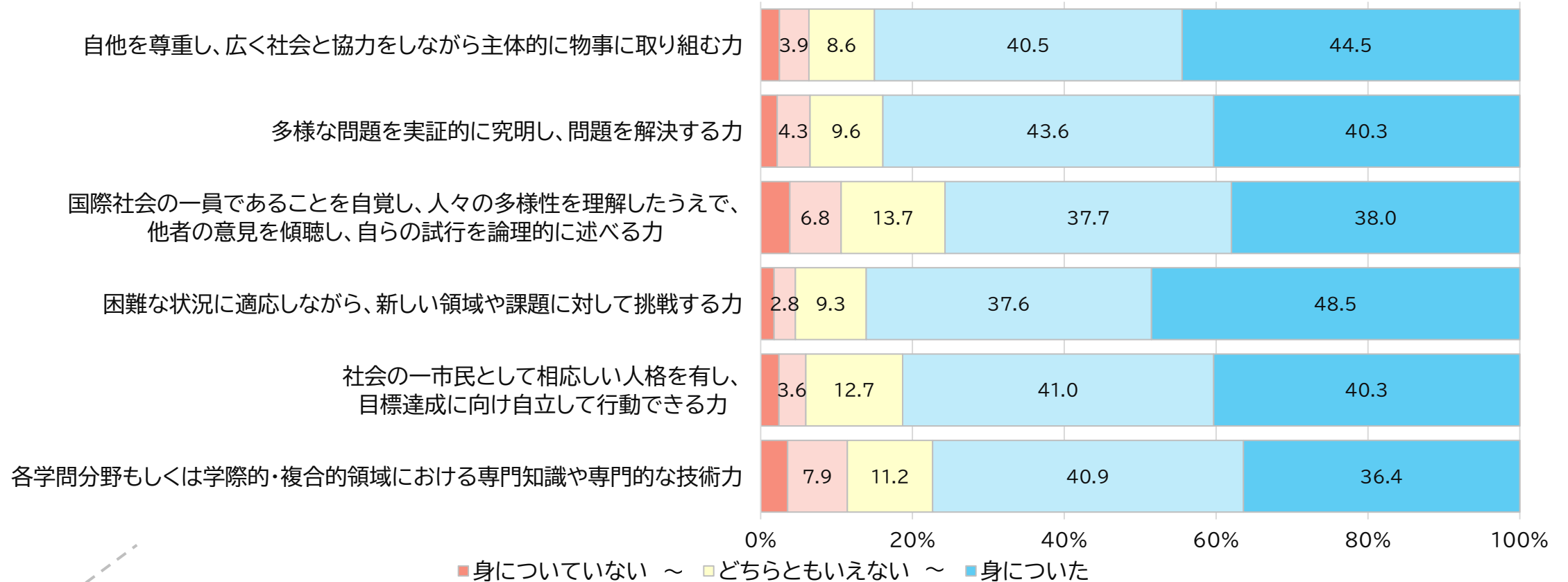
Q 授業期間中の平均的な1週間(7日間)の生活時間についてあてはまるものを選択してください ※今回より項目を変更



- ・卒業生の5割程度は授業への出席が11時間以上となっている
- ・卒業生の過半数が授業に関する学修時間が5時間以内である
- ・授業以外の学修時間も5時間以内が多い

2 学修成果【設問変更】

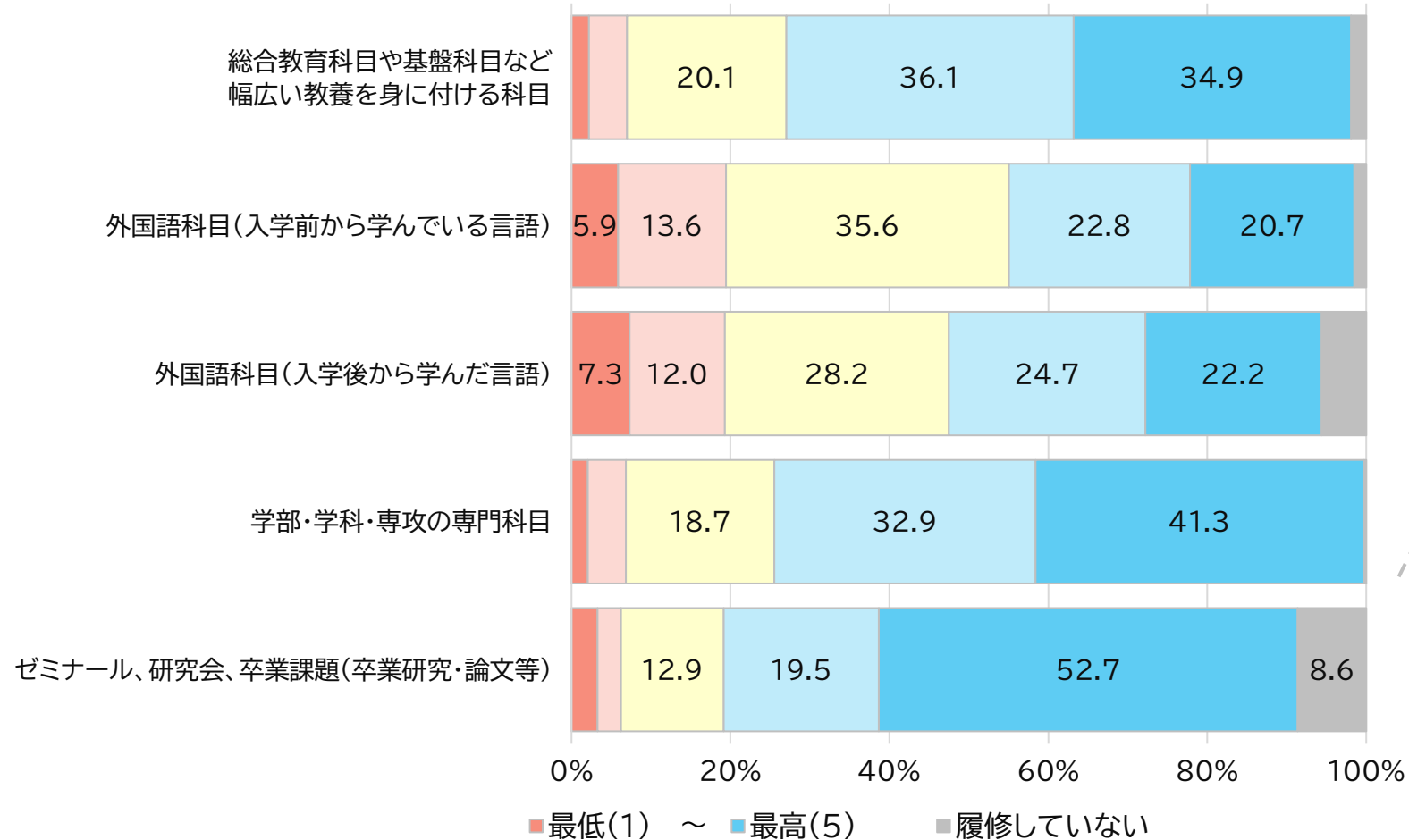
Q 大学生活において、以下の能力やスキルについて、大学入学時から比べてどの程度向上した、あるいは身についたと考えますか
※今回より項目を変更



・大学の定める資質・能力目標について、約8割の卒業生が「身についた」と考えている

3 満足度(授業)

Q これまでの授業の満足度について、それぞれ5点満点で点数づけをしてください

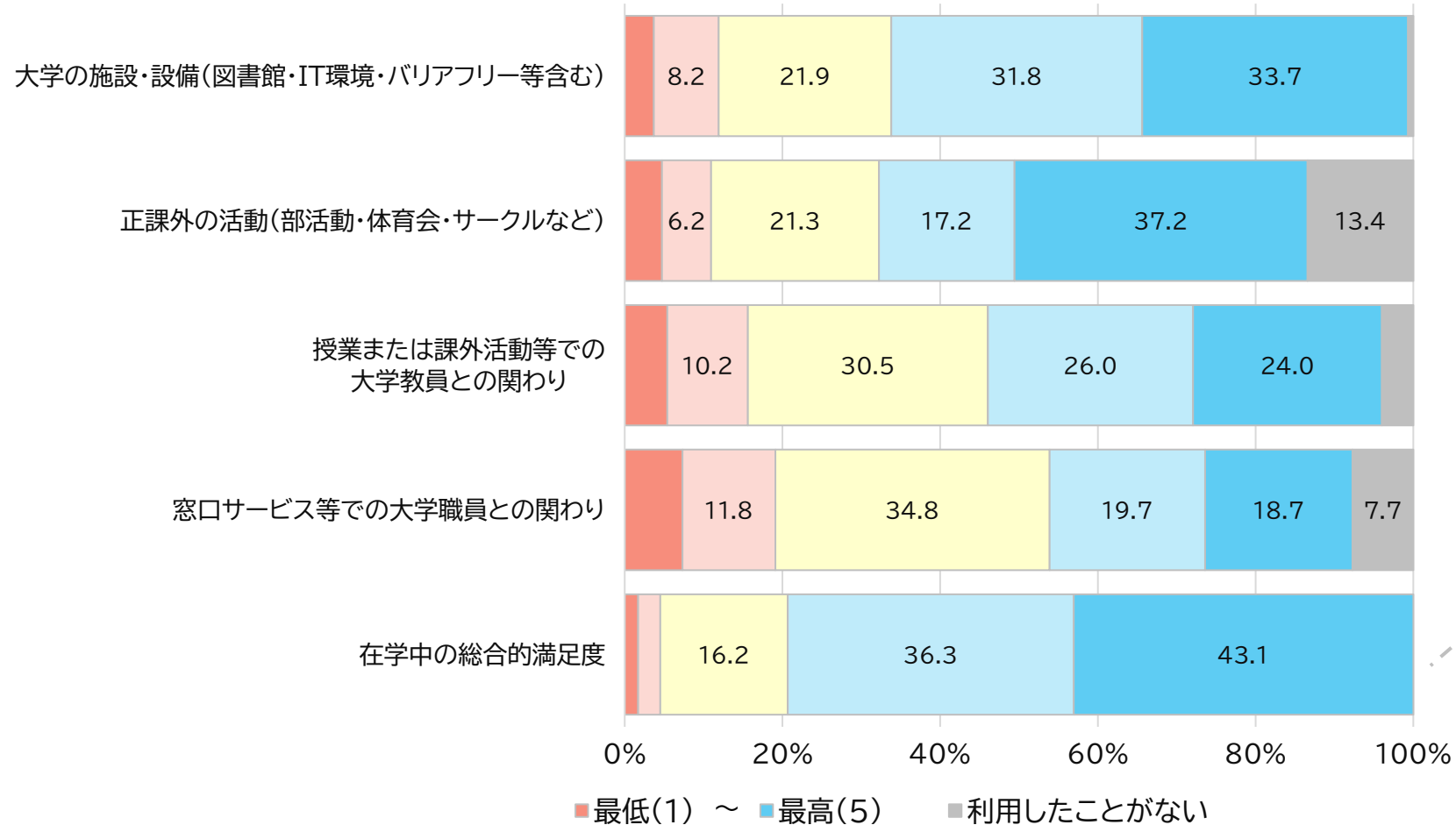


・所属学部・学科・専攻の専門科目におおむね満足している

・卒業生の7割以上がゼミや卒業課題に満足している

4 満足度(大学)【設問変更】

Q 在学中の大学の満足度について、それぞれ5点満点で点数づけをしてください ※今回より項目を変更

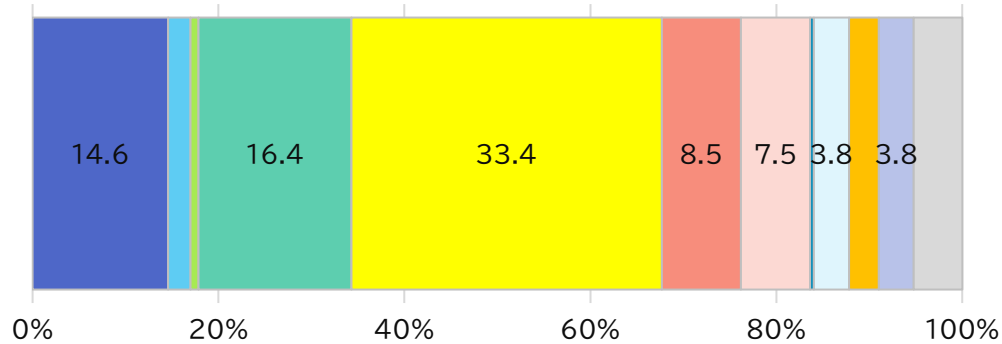


・卒業生の約8割が
在学中の生活全般に満足している

5 在学中に力を入れた活動【設問変更】

Q 在学中に最も力を入れた活動を選択してください

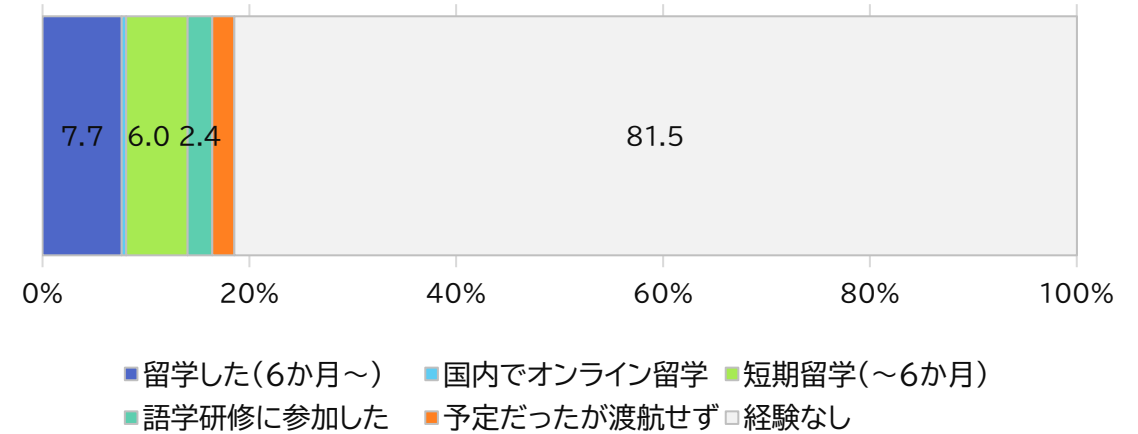
※今回より選択肢を変更



- 授業にかかわる勉強
- 公務員・教員試験の勉強
- 部活動・サークル活動
- 資格勉強
- 留学・海外研修
- 就職活動
- 学術書を読む
- 演習・ゼミ・研究会の活動
- アルバイト
- ボランティア
- インターンシップ
- その他

6 在学中の留学経験

Q 在学中の留学等の経験の有無についてお聞かせください



・在学中の留学経験は2割以下にとどまる

・大学の勉強(授業や演習・ゼミ・研究会)と部活動、サークル活動にもっとも力を入れた学生が多い